



★事業所のみんなのことを思って動く!!★

社会福祉法人の職員 すかい(栃木・日光市)

この仕事の好きなのは「利用者さんたち」。いっしょに笑っていると、いつの間にか自分が元気になっています

①出勤(就労支援事業所の建物)
一般就労が困難な障害のある人のために就労の手助けをする施設
職員と朝礼(午前8時45分)

②事業所に通う利用者たちを
出迎える
知的障害のある10~80代の30人
おはよう

③グループホームの建物へ
職員と朝礼(午前9時45分)

④就労支援事業所へ戻る
「利用者さんと作業」
パン作り
花の栽培
【郷間 優子さんの事業所長】
どうしても人手が足りない、事業所長の判断が必要というところに顔を出す!

⑤利用者の
昼食
袋詰め作業
ネジなど

⑥折り紙の作業に加わる
合間に職員も昼食

⑦利用者が帰る
のを見送る

⑧所長業務など

郷間さんの仕事は多面的
▶利用者や職員の両方を見る
報告や相談にこたえらる話し合い
「職員の「利用者さんについて何となく感じたこと」は当たります。毎日、利用者さんを見ているので」
▶企業や業者とのやりとり
▶長期的な視点で「すかい」の運営を考える&提案 など

折り紙作品
※日光東照宮
近くの自動販売機で
買うことができる
かぶと
特別支援学校
きょうりゅう
教諭免許を持つ



「社会福祉法人すかい」の利用者の人々と郷間優子さん(後列左から3人目)。事業所長になる前、利用者の身の回りの世話や布団の上げ下ろし、そうじなどの「現場の仕事」を6年以上経験した=栃木県日光市



利用者の女性と向かい合って座り、いっしょに折り紙を作る郷間さん=栃木県日光市



「社会福祉法人すかい」の利用者さんたちによる折り紙。小箱に入った作品は、栃木県日光市の日光東照宮近くの自動販売機で買うことができる



作業場のドアを閉める郷間さん(右)。利用者さんたちは郷間さんに用事が無くても顔を覗きにきたり、手をふってほほえんだりする=栃木県日光市

職業研究 鑑

社会福祉法人の職員

支援は信頼関係から

「うちちゃん」「ゆうこりん」。利用者みんなに、ニックネームで呼ばれている。栃木県日光市にある「社会福祉法人すかい」の職員郷間優子さん(34)。知的障害のある人たちが過ごす施設の責任者だ。

就労支援事業所では、利用者がパン作りや花の栽培、企業に頼まれた袋詰め作業をする。昨年、折り紙作りも始めた。薄曇りの日の午後。利用者の女性がテーブルに小さな折り紙の束を置く。かわいいう模様の、きれいな色の…。和柄の手に取ると、器用な手つきで折り進める。「あー、ゆうこりん、あのね。向かい合

う席に座った郷間さんと会話がはずむ。ひそひそ声になったり、だまされてみたり。おふざけも出る。信頼関係があるからこその楽しい時間。「かぶと」を折る2人は話がつきない。

「利用者さんはいろんな視点を持っていて。『そういうふうに見えるのか』と。人それぞれです。元気をもらいま